

1. 概要

1.1. プロジェクト名

公立大学法人福岡県立大学教務システム等更新に係る詳細設計・開発等業務委託事業

1.2. 指針

令和7年3月で現行の教務システム機器等のリース期限が切れるのに伴い、教務システムの再構築を行う。

1.3. 依頼者

公立大学法人 福岡県立大学

1.4. 業務期間

業務期間は以下のとおりとする。

構築業務期間

契約締結から令和7年3月31日までを予定とする。

1.5. 納品物

ア 納品物一覧表

イ 各システムの ER 図・テーブル定義書

※ER 図及びテーブル定義書があれば望ましいが、テーブル定義書のみでも構わない。また、全 DB データを出力する方法も明らかにすること。

ウ 各システムの運用試験結果報告書

エ 各システムの出力帳票・データー一覧

オ 各システムの出力帳票・データーレイアウト

カ 各システムの機能操作説明書

キ システム管理マニュアル

(起動・停止手順、マスタ設定手順、バックアップ手順等)

ク 運用・保守体制表

ケ 保守連絡表

コ 障害対応手順書

サ その他必要な手順書及び説明書等

【提出先】

〒825-8585

福岡県田川市伊田 4395

公立大学法人福岡県立大学 経営管理部経営企画班 和田宛

e-mail : kyomu5@fukuoka-pu.ac.jp

2. 更新のポイント

2.1. 現在までの教務システムの整備状況

本学の教務システムは、本学に在籍する学生情報や保護者情報、カリキュラム情報および単位習得情報などの情報が集積されている。

現在、教務システムについては大きく以下の機能より構成されている。

- (1) 学生情報の管理
- (2) 授業情報の管理
- (3) 履修情報の管理
- (4) 成績情報の管理
- (5) 授業アンケートの管理
- (6) 証明書発行機および LMS との連携

2.2. 現行教務システムにおける課題と対策

教務システムが抱える課題と本学が想定する対策を以下に記載する。

3. 更新計画の内容

3.1. システムの内容

システムに要求する機能概要は、次のとおりとする。また、各システムは、データの一元化及び連携することにより、入学から卒業までの在学生管理のみならず受験生や卒業生まで総合的に管理できることとする。

(1) 入試システム

志願者情報の管理、大学入学共通テストへの成績請求業務、共通テストおよび選抜試験の得点情報を用いた合否判定業務を行うことができること。

また入学予定者の情報については、教務システムと連動することができること。

(2) 教務システム

在学生および卒業生情報の管理、授業情報の管理、カリキュラムの管理、履修登録業務、成績評価情報の管理、卒業判定業務、証明書発行を行うことができること。

(3) ポータルシステム

上記システムについて、機能を利用することができること。教職員より休講・補講の情報やその他学内のお知らせ等が掲載することができ、学生は自身に関連する情報が閲覧できること。

(4) LMS

学習管理システムとして、教員及び学生が直感的に利用でき、日々の課題や授業資料等を管理することができること。

現在、本学では Moodle を利用している。

(5) 証明書発行システム

本学では、在学生が必要な証明書を発行するための証明書発行機を設置している。証明書発行機は在学生のみの利用を想定しているため、利用料・発行料はなし。

3.2. データ移行

本システムに本学として必要な学籍情報、入試結果情報（学籍と紐付ける。）、カリキュラム情報、進級・卒業・修了要件情報、科目区分等情報、履修情報、成績情報に関わるデータ等を本システムで稼働できるよう移行作業を支援すること。

3.3. 教育支援体制

- (1) 本システム導入時は、教職員への操作説明会を1回以上実施すること。
- (2) 本システムの初期導入時及び学年暦に沿った初めてのイベント時（科目登録、時間割登録、シラバス登録、履修登録、抽選、試験準備、成績登録、進級判定、卒業判定、年度末処理等）は、スムーズな運用をサポートするよう支援体制をもつこと。

3.4. 運用支援体制

- (1) 各担当部署の職員に対して、各システムの説明、操作説明を実施すること。
- (2) サーバ上のシステムソフトウェア及びデータは、定期的、自動的にバックアップをとるように設定し、障害発生時にも容易に復旧できるように準備すること。

4. システム機能要件

本学の求める機能要件については別添資料「機能要件確認書」のとおり。